

平成 28 年度 第 1 回 水工学委員会および幹事会 議事録

日 時：平成 28 年 7 月 11 日（月）

場 所：土木学会 2 階講堂

水工学論文賞選考小委員会（水工学論文集編集小委員会）兼 幹事会 12:00～13:00

水工学委員会 13:30～16:30

出席者：浅沼順、天野光歩、石平博、泉典洋、今村正裕、入江政安、岩見洋一、大石哲、大槻英樹、風間聡、川越清樹、河原能久、駒井克昭、里深好文、清水康行、杉原裕司、竹原幸生、立川康人、田中規夫、近森秀高、戸田祐嗣、中北英一（委員長）、中込淳、中嶋規行、中津川誠、中山恵介（幹事長）、堀智晴、松富英夫、宮本仁志、矢島啓、横山勝英（50 音順、敬称略）

《報告事項》

1. 水工学委員会構成 資料 1 p.1
委員長から委員会構成が説明された。

2. 水工学に関する夏期研修会（8 月 22 日(月)、23 日(火)、秋田大学） 資料 2 p.5
松富委員から準備状況が説明された。8 月 16 日(火)が申込締切であり、学生等の参加が要請された。

3. 水シンポジウム山口（8 月 25 日(木)、26 日(金)、山口県総合保健会館多目的ホール） 資料 3 p.8
委員長から準備状況が説明された。「水シンポジウム in やまぐち」のポスターおよびホームページが紹介された。

4. 全国大会研究討論会（東北大学） 資料 4 p.10
9 月 7 日(水) 13:00-15:00【研 06】「気候変動への適応研究推進に向けて!」、C 棟 C200
9 月 9 日(水) 13:00-15:00【研 19】「水工情報システムの発展」、A 棟 A200
それぞれ委員長および立川委員からご紹介いただいた。

5. 各部会、小委員会、関連委員会の活動報告及び活動計画 資料 5 p.13
 - 部会：水文部会、基礎水理部会、環境水理部会、河川部会
 - 常置小委員会：地球環境水理学、ISO/TC113、流量観測高度化、水害対策、グローバル気候変動適応研究推進
 - 出版関連：水理公式集編集小委員会、論文編集委員会
 - 関連委員会：河川懇談会、海岸、CommonMP、流域管理と地域計画の連携、沿環連、地球環境、環境システム部会長、小委員長および関連委員から各部会、各小委員会、関連委員会の活動報告と今年度予定に関する報告があった。詳細は資料の通りである。

6. 平成 27 年度調査研究拡充支援金の配分について 資料 6 p.28

幹事長からAランクの活動評価であることが報告された。しかし、予算の削減にともない昨年度と比較して減額された調査研究拡充支援金が報告された。

7. JSCE2015の自己評価について 資料7 p.30
幹事長からJSCE2015に基づくアクションプランについて説明があった。詳細は資料の通りである。

8. IAHR2017について 資料8 p.41
大石委員からIAHR2017に関する紹介が行われた。

9. その他
委員長からWRaH2017に関する紹介が行われた。

《協議事項》

1. 平成28年度の年間スケジュールについて 協議資料1 p.46
承認された。

2. 平成28年度第61回水工学講演会の開催について（九州大学） 協議資料2 p.47
杉原委員から2017年3月15-17日の予定で準備が進められていることが報告された。

3. 平成29年度第62回水工学講演会の開催について（岡山大学案） 協議資料3 p.55
岡山大学のご厚意により、2018年の3月5日-7日で開催していただけることとなり承認された。幹事長から詳細が説明された。

4. 平成29年度水シンポジウムについて（沖縄県案） 協議資料4 p.59
委員長より沖縄県での開催が正式に決まったことが報告され、分科会開催は河川部会が担当となることが承認された。

5. レーダ雨量計50周年シンポについて 協議資料5 p.60
委員長から予算の援助も含めて水工学委員会の主催で開催することが提案され承認された。

6. 土木学会論文集の論文数向上のための試み 協議資料6 p.62
立川委員から資料に記載の活用案が提案され承認された。

7. 水工学講演会の参加費・水工学論文集編集作業その他について 協議資料7 p.63
編集小委員会幹事長より、日程案および分野の偏り等を解消するための編集体制案が示され承認された。さらに、予算案が示され承認された。通常号とフォーマットを統一することが承認された。ページ数は6ページを維持することとなった。平成27年度の水工学講演会にて実施された試みを継続することとなった。なお、委員長から、水工学講演会の開催時期に関するご意見に対して、ご回答をいただいた。

8. 平成 28 年度水工学論文賞および奨励賞候補論文について

編集小委員会幹事長より、水工学論文賞選考小委員会での論文賞候補論文（案）および論文奨励賞候補者（案）の検討結果が報告された。水工学論文賞選考小委員会での論文賞候補論文（案）および論文奨励賞候補者（案）が承認された。

9. 平成 29 年度水工学に関する夏期研修会について（海岸工学委員会担当）

海岸学委員会が主担当であり、大阪大学の荒木准教授が担当であることが紹介された。水工学委員会からは、同地区の入江委員および竹原委員がご担当となることが承認された。

10. その他

なし。